

## 西原村（2団地）

- 30 山西団地 45戸 戸建て住宅 木造 平屋
- 31 第2河原団地 12戸 戸建て住宅 木造 平屋



- 直接建設（市町村）
- 直接建設（県受託）
- 買取方式（UR）
- 買取方式（民間）
- 買取方式（民間、県技術支援）

### 西原村 熊本地震 参考データ

住家被害状況	全壊	半壊	一部破損
	512棟	865棟	1,096棟

出典 熊本県HP「熊本地震等に係る被害状況等について【第299報】」（令和2年1月10日時点）の被害情報

建設型応急仮設住宅整備数 5団地・312戸（うち木造仮設50戸）



所在地 阿蘇郡西原村大字鳥子659番-1 他

主要用途 戸建て住宅

敷地面積 12,000㎡

延べ面積 2,925㎡

事業期間 2017年8月～2018年8月

工事期間 2018年2月～2018年8月

事業者 株式会社エバーフィールド+ k u l o s

建設事業者 株式会社エバーフィールド

設計・工事  
監理事業者 株式会社エバーフィールド  
k u l o s

売買事業者 株式会社エバーランド

住戸 45戸、木造、平屋

間取り 2LDK (約62㎡) 30戸

3LDK (約71㎡) 15戸

集会所 木造、平屋、床面積 60㎡

### 主な特徴

以前からの地形を利用し、東側には本村のシンボル俵山を望む。近隣に小学校があり、子どもたちの声が元気を与えてくれる場所に整備した。住民のニーズにより木造平屋の戸建てとなっていて、将来や帰省を見据えた2LDK、3LDKの間取りと集会所を建設した。

住戸は小道に沿って配置し、従来の地域を感じさせ、また真向にならないようプライバシーとコミュニティにも配慮した。中心となる位置にシンボリックな集会所を建設したのも、これからの地域コミュニティを作っていく上で、地域の方々が集まれる場所が大切ということ意識したつくりとなっている。





集会所外観



集会所内観



集会所平面図



2LDK



3LDK

住戸平面図



配置図





所在地 阿蘇郡西原村大字河原551番-1 他

主要用途 戸建て住宅

敷地面積 4,400㎡

延べ面積 810㎡

事業期間 2017年8月～2018年7月

工事期間 2018年1月～2018年7月

事業者 株式会社エバーフィールド+kulos

建設事業者 株式会社エバーフィールド

設計・工事  
監理事業者 株式会社エバーフィールド  
kulos

売買事業者 株式会社エバーランド

住戸 12戸、木造、平屋

間取り	2LDK (約61㎡)	6戸
	3LDK (約74㎡)	6戸

集会所 木造、平屋、床面積 66㎡

### 主な特徴

既存の公営住宅と新興住宅に囲まれ、阿蘇くまもと空港が一望できる立地に整備した。

整備地の玄関口に集会所を建設し、団地と近隣地域を結ぶゲートの役割と地域コミュニティを意識した配置となっている。また団地中央には広場とカラー塗装した道で各戸のつながりと空間を大切にした。

ユニバーサルデザインはもちろんのこと景観に溶け込む色彩や県産材を100%利用した住戸は、住む人に安らぎと温かさが感じられるように配慮し、駐車場も可能な限り住戸に近づけた。また本村特有の俵山から吹き降ろすまつぼり風にも対応可能な間取りとなっている。

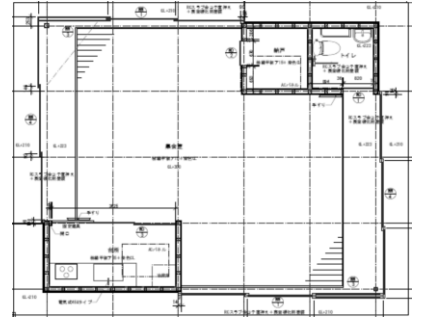
団地内に栗林を残し、地域で管理してもらいながらこれからのコミュニティを育てていきたい。



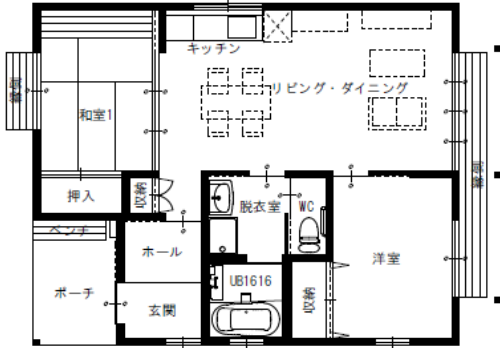
集会所外観



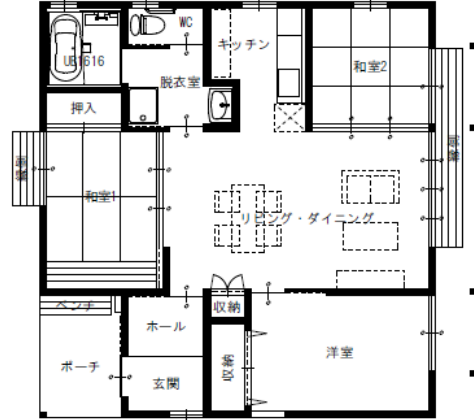
集会所内観



集会所平面図



2LDK



3LDK

住戸平面図



配置図